10月15日 土曜日 14日発行
昭和30年 西暦1955年

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13
電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES
第3248号 (昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認 第232号)
(中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内銷証字第0136号)

あすの暦 10月15日・土 旧8月30日
月齢 28.9
日出 前 5.46
日入 後 5.07
月出 前 5.01
月入 後 4.26
満潮 前 4.45 後 4.35
干潮 前 10.45 後 11.05
(大潮)

天気予報
今晩 東よりの風やや強く
明日 北の風やや強く朝方雨、のち曇から天気は回復する。

4版

内閣改造も考慮

鳩山首相けさ見解を表明



鳩山首相

鳩山首相は十四日朝のラジオ・テレビ会見で、統一社会党に対する見解および保守合同、日ソ交渉など当面の問題について次のように語った。

一、社会党の統一は日本のためにも喜ばしいことの一つだと思う。政党が多いとどうしても政争が激しくなるから革新、保守政党ともそれぞれ一緒になれば自然政党も少くなる。社会党が統一したからといってすぐ政権をとることはいまのままではちょっと考えられない。もっと大人になることが必要だ。

一、保守合同はできると思う。ただ見通しなど細いことは直接タッチしていないので判らない。合同には政策の一致が必要だが、自由党にしても日ソ交渉、日比賠償などをつぶそうという意図はなく、よく説明すればわかってくれると思う。政府としてはまず臨時国会前に保守合同ができないとすれば内閣を改造するより手がない。その見通しがたてば改造したいと思う。

一、日ソ交渉はこちらの納得できるところでまとまる見通しがつけば早い方がよい。それは抑留邦人が一日も早く帰れるからだ。マリク全権も今月一ぱいはロンドンに帰らぬだろうから今月中に政府の態度を決めたいと思っている。早期妥結が望ましいが、延ばした方が有利ならば延ばした方がよい。その辺は松本君の判断一つだ。

一兆三千六百億円

蔵相報告 明年度予算要求額



一万田蔵相

一万田蔵相は十四日の閣議で、このほど大蔵省に集計した三十一年度一般会計歳出予算の各省概算要求額を報告した。それによると要求額は賠償債務処理費を除き一兆[illegible]六億八千百万円に比べ三千[illegible]の基本線を堅持したいと[illegible]先行はその時期でなく、ま[illegible]を明らかにし、これに対する各閣僚の努力を強く要請した。

査定難航せん

地方財政、分担金

蔵相 根本長官と協議

来年度概算要求[illegible]べて大幅に減っ[illegible]当局が財政緊[illegible]の中間報告の線[illegible]度で予算編成に[illegible]ら各省とも要求[illegible]ため、特に公共[illegible]対策費、各種補[illegible]ち農林、建設両[illegible]れも前年度の約[illegible]投融資も三分の[illegible]

一万田蔵相は十[illegible]ち首相官邸で根本[illegible]三十一年度予算[illegible]

オネスト・ジョン 現在は貸与せず

米国防総省が言明

【ワシントン十三日発AP＝共同】米国防総省当局者は十三日砂田防衛庁長官が十二日原子ロケット砲『オネスト・ジョン』の貸与方を米国に要請した[illegible]東京報道について[illegible]かも知れないが、現在は考えていない」と次のように言明した。

[illegible]引渡す計画はない。しかし将来日本がこれを操作する人員を増[illegible]貸与するかも知れない[illegible]とも米国は日本からまだ正式にそのような要請を受けてない。



欧州かけある記

近藤天

……パリ（上）……

写真は有名なムーラン・ルージュ劇場、左手のビルはまだ戦火の跡を残している。（筆者撮影）円内は近藤天氏

多いヤミの女

物価高に悩む〝飽食の都〟

パリは世界の観光地で、莫大な外貨が流れこみ湯水のように使われる。それだけに遊ぶところや、飲み食いするところが多い。古い都だからノートルダム寺院やエッフェル塔、凱旋門など名所旧跡はザラだし、芸術を愛好する向きには上はルーヴル博物館から、下はムーランルージュ、カンカン踊り、さては銀貨をハサんだり、タバコをふかしたりするナイトクラブ芸術までキリがない。しかし物価はかなり高い。かなりというよりヨーロッパ最高ではないかと思う。私のような制限された旅行者には苦手だし、本気でパリへ勉強にやってくる画学生などには大変な悪条件だ。アルバイトでかせごうにも、フランス政府は労働者保護のために外国人が働くことを禁止しているから、〝行けば何とかなる〟式の無鉄砲は役に立たない。自由で解放的なフランスという幻想はもう通用しない。こんなところにも、インフレと失業、それに植民地の離反と『大国』フランスの直面する現実のきびしさが現れているようだ。

◇

しかし何といっても、この町は古く、落着いていて、美しい。ことにモンマルトルの石だたみは、ムーラン・ルージュの赤い風車とともに旅人の哀愁をそそるものがある。

サクレクール寺院のそびえるモンマルトルの丘を見あげるブールヴァールには、ムーラン・ルージュが相変らず風車の看板で観光客の足を止めている。四年前に来た時より、パリ全体が静かになったような気がしたが、自動車の警笛が去年から一切禁止されたからだという。ここらは日本も見習っていい所ではないか。もっとも今度はスピードをあげて事故がふえ、年に八千人も死ぬというから危険になった。

◇

話がそれたが、モンマルトルには相変らずヤミの女が多い。街娼はパリ全体で二万人くらいいるというが、普通ショートで三千フラン（約三千円）で、やはりヨーロッパ随一の高値だ。何百万フランか貯め込んだのもいるというが、日本にもそんな話があったのを思い出して、洋の東西を問わず、あの方は同じだと苦笑させられる。もっともヤミの女の取締りはきびしく、かの女たちも前ほどあくどく客の袖を引かない。（筆者は本社監査役）

粋人酔筆

珍記事

石黒敬七



昔の新聞には随分珍記事が多い。最近入手した明治十七年『絵入自由新聞』の珍記事で、秀抜なものを、二、三御紹介申そう。

◇牛暴れる 一昨日の午ごろ小石川原町一二一番地の畑中へ、いずこよりか飛び来にけん、猛虎の如き一頭の牛、左右の角を振り立てまっしぐらにかけ来り、暴れる勢い疾風の如く、ソレ押えよ鎮めよと群がりかかりし人人も、その勢いに辟易し、果は角にかけられんを恐れ、誰とて傍らへ近づくあたわず、家家にては門戸を鎖して、上を下へとひしめき合うなかなかの騒動なりしが、折しもここを行されし、小石川警察署詰の巡査黒部延三郎様が、かくと見るよりかけ寄りて、手に持つ官棒打ち振りて、件の猛牛に立ち向いしが、棒はたちまち牛の角に引っ掛けられて、はるかの彼方へ飛び去りたるも、屈する色なく、大手を拡げて仁王立ち、いざこい来れといどみ合い、左右の角をむんずとつかみて、ついに件の猛牛をたやすくその場にねじ伏せたりしは、あっぱれ眼覚ましき働きにて、犬田小文吾の再来か、お手柄のほど感服々々。

（巡査の様付は当時の世相がしのばれておもしろいですナ）

◇空中飛行 静岡県下遠州地方にては、毎年の今ごろ、百枚ないし百五十枚の大タコを張って揚ぐるを無上の快楽となすが慣習（ならわし）なるが、両三日前掛川宿の若者らが寄合い百三十枚のタコを大風につれて揚げたるところ、いかなるはずみにや、糸を持ちたる二人の者は、たちまち地を離るること二丈ばかり、アレヨアレヨと叫ぶ間に、はるか空中に釣上げられ、風のまにまに引かれゆくにぞ、二人は生きたる心地なく、糸を持ちたる手を放たば、地上へ落つるが恐ろしさに、これぞ命の玉の緒なりと、一生懸命すがり付き、引かれゆくこと千町余、ようように風やわらぎ、タコの下方へ下りしため、二人も無事に地上へ下り、驚きたであろうと思いの他『われらは実地に空中旅行をなしたり』と会う人ごとに誇りいる由、二人の豪胆驚くべし。

（昔、タコに乗って名古屋城の金鯱のウロコを奪ったという伝説はあるが、この話などは実話として興深い）

◇時計の怪物 麹町元園町に住む小川お福は母と二人暮しの水入らず、一昨日の午後二時ごろ、母子連立ち用たしに出で、夜に入って帰宅せしに、表戸一枚開けてあるにより、さては盗人の入りしならんと、こわごわながら内に入り、改め見れば、アーラ不思議や、雪隠（せっちん）の中にてチンチンと十時を報ずる時計の音、うさん臭いはこの中と、女ながらも気丈のお福、雪隠の戸へ手を掛けて開けるトタンに飛出す盗人、八角時計を小脇に抱え、いきなりお福を突倒し、あとしら浪と逃げうせぬ。

（うさんくさいはこの中と…の辺り、たまらぬおかしさが、こみ上げてきますナ）

◇外人と御婚礼 これまで外国人と結婚した者は随分あるが、今度はなかなかお立派な御身分にこの事あるはどなたぞときくに、華族従四位万里小路通房様の御舎弟秀麿様には露国セントペイトロ府の士族、陸軍大佐ニコライ・パユノフ氏の妹マリヤ・パユノフ女と結婚致したき旨、その筋へ願い出られしが、御夫婦にお成り遊ばしたら御前、上等の合（オット）愛らしい若君様をおもうけに成ることでありましょう。

（カッコでオットというあたり如何ですか）

◇徳川宗家 従三位徳川家達（いえさと）様には御帰朝後三縁山増上寺へ入らせられ、過日大教正に御面会なされての御物語りに、三位様が横浜より十時の汽車にてただ御一人夜中新橋まで着かせられしところ、お出迎えの者一人もあらざれば直ちに人力車をお雇いなされ、土坂の自邸へ至られしとは、ああ征夷大将軍のころでありなば如何ばかりと、時世にうとき老人ならかくいわんか。

仏政府、危機回避か

五動議の先議を否決

【パリ十三日発ロイター＝共同】仏国民議会は十三日深夜、社会共和派（旧ドゴール派）提出のアルジェリア問題に関する政府政策非難動議の先議を挙手採決により否決、ついで社会党提出の非難動議先議を反対三百七十八票対賛成二百二十六票で、共産党提出の非難動議先議を反対五百十七票対賛成百票でそれぞれ否決した。この間海外独立諸派が提出した政府政策非難の動議も挙手採決で否決、ついで海外独立諸派のジャック・シュヴァリエ議員（マンデス・フランス内閣当時の国防相）から第六番目の動議が提出された。この動議は政府に対しアルジェリアの経済、社会改革に関する一九四七年の協定を速やかに実施するよう要望したもので、政府によっても受諾しうるものである。そのあと、議会は急進社会党の要請により、十四日午前二時まで休会に入った。政界観測筋はシュヴァリエ議員の動議が過半数の賛成で可決される可能性があるとみており政府が危機を回避しうる見通しは強まったとしている。

民自四者会談

民主党の岸幹事長、自由党の石井幹事長、三木総務会長、大野総務会長は十四日正午過ぎから東京永田町のグランド・ホテルで会談した。この四者会談で民主党側は『鳩山総裁含みで年内合同』の線を打ち出し、自由党側の意向を質したが、自由党側は同日午後に首脳部会議を控えているので、民主党の党議決定先決を主張するだけにとどまる模様である。

社会春秋

縁の下のちからもち

小松清

[illegible]に伝わってくるのである。

世道人心の荒廃を嘆く声が至るところで聞かれる今日であるそれだけに、日陰の善行美談を知るごとに、恐らく人々は道徳未だ地におちずと自ら慰めることだろう。あるいは砂漠にオアシスをみる悦びと愉しさを覚えるであろう。悪の愉しさの渦巻のうちに善の愉しさが遂に呑み込まれて行きそうなこの時世にあって、善の愉しさを沈黙と謙虚のうちに秘めている人々の存在が、多くの人々の共感と感激を呼びさますのであろうが、その共感と感激は尊い。そのことがわれわれを心強くする。読む人々も〝ありがとう〟と御礼をいう人々と一緒に、〝ありがとう〟といいたくなるのである。

地獄耳

就職の世話に

ことしも深刻な就職地獄、例年のことだが頼まれる代議士連の頭は痛い。民主党では岸幹事長など、秘書や国許の幕僚など十人近くを総動員、御大も電話戦術で獅子フンジン、命中率七、八十㌫といわれる。

自由党の林譲治氏は自ら陣頭に立ち地味に活躍、全体数はやや下回るが命中率は岸氏に匹敵。赤城宗徳氏も陣頭指揮組。森下国雄氏は、入学か

忙しい代議士

ら就職・結婚まで一貫作業、半日は各会社の重役陣をとび回る熱の入れ方。

ところでこの森下先生、さる会社を訪れた時、その重役氏『手を懐ろへ入れたり出したり、何をモジモジなさるのです、ゼニなら差上げていいです』に森下氏『ご明答といいたいが、その前に履歴書を一つ…』重役氏『その方はご勘弁を…』と一しうされてもネバルことネバルこと。

ないがい川柳

吉田枯司選



選挙区を台風それる気の毒さ　横浜　渡辺夢生
ヘップバーンかつらを借りて角隠し　千代田　南渡波
吹けば飛ぶ屋根に小石をのせて待ち　横浜　市野三七
捨鉢を笑わないでと女の眼　神奈川　北村やなぎ
秋深し隣も何もしない人　世田谷　栗崎光雄
円い月二つの影がよじれ合い　文京　木村いつ秋
【賞】泣寝入りしない娘がいて記事になり　江戸川　風間花盈

内外抄

統一社会党も曲りなりに出来上ったんだから、保守合同も曲りなりにも出来なくてはとね。

◇

第三党となった自由党、絶対多数の昔の夢を合同でもう一度と、緒方かつぎ出しに夢中となる。

◇

軍事査察団の駐在を認めてよいとア大統領の回答、ソ連は大統領の病状査察団も出したかろ。

◇

群馬県の警察が女学生の思想調査をしたのを陳謝した。流行の調査なら無難だったものを。

◇

茨城県の海に落ちた観測気球が見つからぬそうな。逃げた魚のように、成功は大きかったらしい。

市況

電力株を物色買

積極的な買進みはさすがに手控えられているが、大証券筋は引続き優良株にまとまった買物をだしているので地合はいささかも堅調さうしなわず全般はジリ高歩調のうちに商内も活況を呈している。特定株は融資残が依然三十億円台にあるため売買とも積極味なくほとんど一、二円幅の小浮動をくり返した。雑株は諸工業などが引続き物色されてジリ高をたどったほか石油、砂糖、機械などに買気が循環して五円内外小高いもの多く一方常磐炭、服部時計など一部品薄株の五―十円方反落がみられたものの全般はいずれも堅調な場面であった。

▽高い株＝中国電七円、中部電六円、東北電、東洋埠五円、東京電、福助足袋、北海電、台糖、住友機、東京機、化工機、松下電四円

▽安い株＝常磐炭十円、服部時計、日立工五円、藤田興四円

東京株式仲値				倉レ	122	小西六	108
□新株落 △配当落				旭化成	389	カボン	37
(14日前場終値)				山陽パ	137	三井物	134
特定銘柄		信越化	90	日本パ	115	第一物	130
東海上	258	東高圧	149	国策パ	136	白木屋	—
郵船	63	昭電工	105	東北パ	117	高島屋	97
新三菱	76	日本曹	95	大東紡	100	日活	73
日清紡	274	旭電化	85	商船	49	松竹	209
味の素	295	三菱造	92	三井船	53	東宝	—
三越	295	三井造	124	飯野海	60	大映	162
三菱地	505	三菱重	65	西武	376	日本粉	133
平和不	212	石川重	94	藤田興	219	日清粉	128
三井金	121	精工	148	東京ガ	81	日本ビ	176
三菱金	118	東洋ベ	128	東電	606	朝日ビ	187
日鉱	112	日立造	58	日銀	—	キリン	209
住友金	119	浦賀	64	東銀	56	宝酒造	130
三菱鉱	59	日平	18	三井銀	73	台糖	265
古河鉱	85	古河電	71	富士銀	87	明糖	135
同和鉱	140	日立製	76	日証金	84	甜菜糖	133
住友鉱	69	東芝	69	安田火	106	野田	208
三井山	73	三菱電	78	大正海	95	森永	186
北海炭	72	小松	62	住友海	86	明菓	182
東邦亜	72	日本光	150	千代田	75	日水産	94
帝石	76	キヤノ	169	鋼管	80	昭和産	116
日石	109	東京光	36	日製鋼	69	東洋酸	86
昭和石	131	東洋紡	171	八幡鉄	59	合同酒	145
東燃	135	鐘紡	142	富士鉄	55	三楽	128
三菱石	142	富士紡	130	神戸鋼	55	大阪糖	176
大協石	136	大日紡	93	日特鋼	112	王子紙	255
日東化	92	日東紡	64	日軽金	185	十条紙	286
日産化	78	片倉	36	日金工	73	本州紙	100
三菱化	108	東邦レ	120	日セメ	166	三菱紙	96
三井化	135	帝麻	40	磐城セ	287	北越紙	72
協和醗	129	中織	49	小野田	87	三井不	809
東合成	139	帝人	157	横浜ゴ	145	三井倉	96
三共製	178	東洋レ	201	旭硝子	178	渋沢倉	82
		三菱レ	136	富士写	155	東洋埠	216

青春無宿 (157)

大林清 作　下高原健二 画

浮草（五）

次郎も何気なくその外国人を見た。

年齢はよくわからないが、四十才よりは若くないと思える長身の男で、服装の好みからアメリカ人らしいと見当がついた。

『ちょっと失礼』

兆子が立ちあがって行って、その男と何か二た言三言ことばをかわした。

次郎はまた母親のことを考えた。兆子は任せておけと云ったが、ジッと手をつかねてその返事を待つのはもどかしかった。といって次郎が大井へ出かけたところで、兆子のいうように芳ばしい結果が得られるとは思えない。兆子が長身のアメリカ人と別れてもどって来た。

『ごめんなさい』

そう云ってもとの席へ腰を下すのへ、

『だれ？』

と、次郎はきいた。誰でもよかったのだが、ヴァルマンがドルの掻き集めに狂奔していると語った兆子の言葉から、ふと何かヴァルマンに関係があるのではないかと思ったのだった。

『アメリカの人よ、バイヤーなの』

兆子はそう答えて、ふっと翳のある眼になり、

『あたくしね、やっぱり今までの仕事ではやって行けなくなったの。またもとへもどるより仕様がないの』

と、その眼を伏せて、マニキュアされた自分の[illegible]見入った。

『もとへもどるとは？』

『わかってるでしょう、[illegible]に軽蔑されても仕方がな[illegible]

そう云った兆子の[illegible]気づいて、次郎は[illegible]兆子の前身が米軍[illegible]ーだったことを思い[illegible]まるで野性の牝鹿の[illegible]った一昨夜の兆子に[illegible]ションボリと肩を落[illegible]その姿に、次郎の胸は[illegible]た。

『なんとかならないのか[illegible]

そういわずにはいられなかった。

『なんともならないわ、一人生きていけばいいっじゃないんですもの。昨[illegible]帰って、その決心をした[illegible]

兆子は顔をあげると、もの明るい微笑にかえっ[illegible]

『お兄さん、これからい[illegible]大井へ行きましょう。あ[illegible]との汚れた女になったら[illegible]んとはお目にかかれないだから今日一日だけおつきあって頂戴』

次郎は返事を渋った。へは行きたかった。

『いいでしょう、そは無理云わないわ。て』

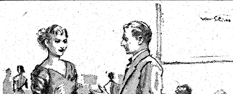
兆子は有無を云わさず、勢いよく立ちあがって、

『これからすぐ行く[illegible]

『そうよ、ホテルの[illegible]わ、勘定は今の彼に[illegible]いいんだから』

そう云い捨てて、とロビィの出口の方へく。その口振りから子がオンリーになるアメリカ人らしかっ[illegible]次郎がまだ決断のりでロビィを出た時交渉でもしているら

・オフィスの前に立[illegible]





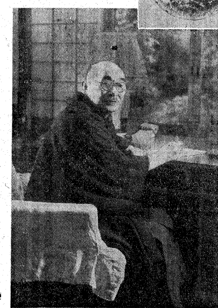


銭形平次よもやま話



[illegible]

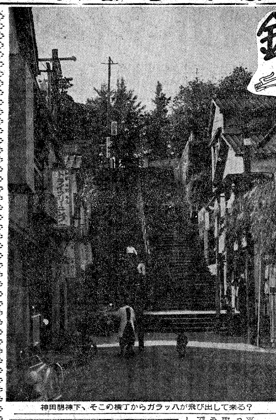
写真❶は平次得意の投銭寛永通宝の波形、銭形の名前の由来である❷は作者の野村胡堂氏



世に出て早くも25年
衰え見せぬ胡堂の筆先

[illegible]

……お静の愛をつかんだのである。事件後三、四ヵ月して、神田明神下に平次は新世帯をもった。正にいうと神田御台所町、ケチな長屋で、うしろに共同井戸があり、ドブ板は少し腐って、路地にはしょっちゅう白犬がねそべっていた。ここは現在うなぎ料理の神田川があるあたりで、本山荻舟氏の若き日の住いであった。荻舟氏は、一代の名妓お鯉さんの妹分だったおさんと、晴れて新居をここに構えたことがある。胡堂氏は荻舟氏に劇評を依頼に明神下へ通ったことがある。もともと親しい間柄なので、ちょいちょく遊びに行った胡堂氏が、よほど気に入ったとみえる。たった六畳二間に入口が二畳、それに勝手という狭い家だ。ここに荻舟氏が、お光さんといとも睦じくひっとりと住んでいたわけだが、同時に実は銭形平次がお静さんと世帯を持っていたのである。



神田明神下、そこの横丁からガラッ八が飛び出して来る？

実在的な人間に
十手や投げ銭をも発見？

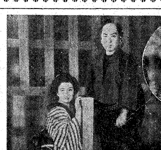
平次は今年三十一才だ。世帯を持ってから四、五年、なかなか年をとらない。お静も二十二か三（どうも女は年令をいいたがらないので困る）これは内証だが一度妊娠したことがある。平次も喜こんではいたが、その後子供がでてこないところをみると、どうやらあれは流産したらしい。ひょっとすると、ガラッ八の『大変だ、大変だ』に驚いた拍子に流産したのかもしれない。

ガラッ八は、平次より一つ下の三十才だが、まだ柳島の伯母さんの家に下宿している。人がよくて女に惚れっぽくて、単純なオッチョコチョイだが、よき男である。銭形平次の成功はガラッ八がいたればこそだ。二人は新聞社の部長と部員の関係に似ている。胡堂氏はかつて報知新聞の社会部長であった。作品のヒントはこのころにふと記憶に留めた事件によることとも多いそうだ。寛永通宝平次には特技がある。（波型の四文銭）をつぶてとしての武器に使うのだ。これ[illegible]の没羽箭張清が腰の袋に入っていて、危急の場合に投げるのにヒントを得たもので、銭形の名もまた、ここに由来している。また銭形平次はヒューマニストである。冷酷無残な人情と仮借ない法の運用に対して反感をもっていた。法の精神は動機を罰せず行為を罰するという法の矛盾をついたものである。これが大衆に歓迎された所以であり、またわれわれの溜飲を下げるところでもあろう。

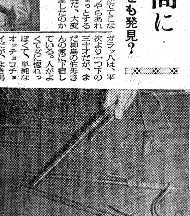
銭形平次は愛されている。銀座の料亭に銭形の名を冠したのがあり、支店ガラッ八がある。平次が使用した十手までがある。やがて二十年、三十年すると、平次はさらに実在の人間にみられるだろう。浅草に半七塚が作られたように、明神下にわれ等が銭形塚を建設したら、後世まで史跡として残るかも知れない。

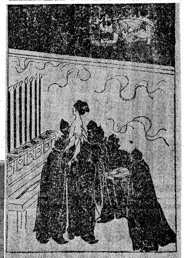






写真㊤は平次（大谷友右衛門）とお静（杉葉子）㊥はガラッ八（榎本健一）㊦は平次（長谷川一夫）とお静（山本富士子）





㊤は〝金箔をおいた乙女の裸体へ黒装束の五・六人が唇の雨を…〟（第一回の挿絵小村雪岱画）㊧は銭形平次愛用の十手と投げ銭

風流世界譚
……（イギリス）……

『うちのフローラはまだネンネなんざんすよ』とペギー夫人は誰にも吹聴します。そろそろ社交界に乗出さなければならない年齢なのですが、一人娘ですから甘ったれて仕様がありません。それがまた夫人には可愛くてたまらないんです。『ママ！』その晩も血相変えてママの寝室に飛込んできたフローラに夫人は飛起きました。『ママ大変よ』『どうしたの、まあ大変な格好で』まったく、パジャマも脱ぎ捨てパンティ一枚なんです。『どんな用事か知らないけど、女の子はたとえお母さんのところへくるにしても胸はかくすものよ』とたしなめはしましたが、なるほど大変な話にちがいありません。『誰かが私のお部屋の鍵穴からのぞいているようなの』『それは大変』と夫人は娘と二人で寝室の前に行ってみますと下男のジェームスがいます。『今頃なんですか』と叱りますと『あっしは鍵穴の掃除をしていますだ。とかくお嬢さんの部屋の掃除は昼間は忘れ勝ちでして』

夜汽車ひる汽車
列車ボーイ座談会　③



A　勤務中に盗難事故が起るのは一番厭だネ。

C　われわれの苦労の大部分が盗難の防止だといってもよいくらい……。

B　お客さんは座席に座ってしまうと、どうしても注意が散漫になる、盗る方はそこが思うつぼなのだ。

D　先日も寝台車で朝目が覚めたら、荷物はおろか洋服から靴まで盗まれて、サル又一つになったお客さんがいた。仕方がないから鉄道の浴衣で帰って戴いたが、夏でよかった。

A　発車真際の盗難は荷物、進行中はほとんど現金ばかりねらう。

D　先だっても北陸号で百万円入りカバンをやられたが、カバンは沿線にすててあった。

B　霧島号で三十万円入りのカバンを盗られた時は、カギがかかっていたために、あける暇がなくてカバンごと線路にすててあり、無事にお客さんに戻ったが、これなどは運がよい。

C　中身だけぬかれると証拠がないから全く弱る。金だけぬいて財布はもとの上衣のポケットに戻しておくような芸当をする奴もいるから……。

C　たまに捕えても、われわれに捕まるようなのは、ついその場の出来心から悪いことをした素人が多く、その道の専門家はなかなか捕らない。

A　急病人であわてることもあるね。

ケ病を使う年増女
―医者を幾人も替えた挙句―

B　ところが、お医者さんといってもいろいろあるからね。先日、三十年増のなかなか肉感的で一目で水商売とわかる女性が胃が痛いというのだ。拡声機でお医者さんに来て貰って注射したのだが、そのお医者さん大したことはないという。それでもその女性が『痛い痛い』と大げさにいうので、仕方ないから又別のお医者さんに来て貰ったところで、次に来た医者という のが見るからに助平そうな五十年輩の親爺なんだ。患者が胃が痛いといっているのに胸から下腹の方までていねいに撫でまわしてサ。（笑声）女の方も結構いい気持そうにしてるのだから厭になるよ。僕も一応は心配だから見に行くと、側にも寄せやしない。

B　うまくしたもので、大抵お客さんの中にお医者さんがいる。拡声機で頼むと、二、三人は来てくれるから助かるよ。

D　若い女の人があまり大きな口をあいて笑ったのでアゴがはずれてしまって大騒ぎしたことがある。その時もお医者さんが来てくれて簡単にハメてくれた。

C　触らして貰いたいような顔してたのじゃないの？（笑声）

B　結局道中つきっきりで看病（？）した挙句、その年増女が京都で降りたら、一緒に自分も降りちゃった…。（笑声）いつの間に話がまとまったのか…。その親爺さん、乗った時は大阪までといってたのだよ。

C　邪魔のない所で、ゆっくり治療する気なんだろう…。（笑声）

D　拡声機がとりもつ縁ということろだ。その親爺本当の医者だろうね。

B　マッサージ専門かも知れない。（笑声）

C　拡声機で〝素敵な美人が急病で苦しんでいますから来て下さい〟とやったらいろんなお医者さんが続々と現われるだろうな……。（笑声）

―え　金子泰三―

モダン歳々記
保名物狂初演

享保十九年十月十五日、大阪竹本座で竹田出雲作の『芦屋道満大内鑑』四幕が上演された。この芝居が人獣交婚説話であることとは有名で『恋しくは尋ね来て見よ和泉なる信田の森のうらみ葛の葉』と助けられた白狐が葛の葉という女に化けて主人公の阿部保名と同棲し、『さて味もかわらぬものと保名いい』で子供まで儲けた挙句に、本当の葛の葉が現れるので、障子に歌を書いて姿を消すところは、毛筆を口にくわえたり左手や足でもって曲書きするのでなかなか難しい役になっている。

この本物と偽の白狐の化けた葛の葉を一人の役者がやるところに面白味があるのだが、保名の方も小袖で物狂の狂乱の場がみせ場になっていて、この場面が所作事としてよく上演される。狐が美女に化けるのは『殺生石』の玉藻の前など中国伝来のものとして珍らしくないが、近くは谷崎潤一郎氏の戯曲『白狐の湯』などで狐が裸体の外人女となって現れたり、すこぶる幻想味に富むと同時に食肉的怪奇さをもっているといえよう。

安永五年十月十五日にはお半長右衛門の心中劇『桂川連理柵』二幕が大阪北堀江座で初演されている。このロマンスの実説は四月七日の項に述べておいた。（鮭）

東海毒婦伝　青とかげ (98)
野沢純　土端一美画

ながれ雲（五）

その夜豊吉は、床へ入ってからも、まんじりともしなかった。あたまの中に浮んで来るのは、『とよきち――後生！』と縋りついたおりうの姿である。

生れて、はじめてのことだった。

豊吉は思わず慌てた。

その胸もとに取り縋ったまま、『ねえ、とよきち――後生。お願い。逢わせてくれたら、その代り、お前のいうことを何でもきくわ』

『……』

茫然と、夢のように豊吉は、おりうの眸を見つめ返した。

『ほんとうですか……？』

声もうつろに、訊き返した。

『ほんとうに、手前のいうことを何でもきいて下さいますか？』

『ええ。きくわ』

『たとえば……この豊吉の……』

いいさして豊吉は、オコリのようにわななく顔えた。

『たとえば……女房になって下さいと申上げても、黙ってきいて下さいますか？』

いや見る見る豊吉は、朱のように、われとわが顔を赫らめた。

次の瞬間、逆にずう……と青ざめたまま、

『え？　お嬢さま――ごめん下さい。そういっても、ええときいて下さいますか？』

つめ寄るばかりな目の色だった。

『ええ、きいてもいいわ』

おりうは静かにうなずき返した。

『きっとでございますね？』

『……』

黙ってうなずくおりうである。

『嘘ではございませんね。約束して下さいますね？』

『早瀬さまに、逢わせてくれたら――よ』

『ええ、お逢わせ致しますとも！　きっとお逢わせ致します！』

うわごとのように、豊吉は答えた。

『その代り、きっと手前の女房に、なって下さるでしょうね』

『くどいわ』

『わかりました！』

豊吉は、浜の砂地に両手をついた。

『有難うございます。お嬢さま！　この通りでございます！』

感涙に、むせばんばかりなおろおろ声へ、

『ほほほ……ばかね。人が見たら笑うじゃないの』

『笑われても構いません。豊吉めは、嬉しいのでございます！　その一と言が、忝けないのでございます！』

『厭よ、そんなにお辞儀をしては――何処の世に、女房の前で、両手をつく亭主があると思うの』

『済みません、お嬢さま！　今の一と言、約束をして下さい！』

『してるじゃないの』

『いえ、形の上でハッキリと、約束をして下さい！』

いったと思うと豊吉は、おりうの両手を、おし頂くようにして立ち上るや、浜小屋の中へ連れ込んだ。

プン……と海草の匂いのする、薄暗い小屋の隅で、いきなりおりうを抱きしめると、激しい情熱をこめて、そのまま唇を押し当てた。奔流のように胸はおどった。

おりうは別に逆らわなかった。

不慣れな男のくちづけを、敢て拒もうとはせず、すなおに受けて、目をつぶった。

昼間のことを思い出して豊吉は床の中で今もどっどと胸を鳴らしているのだ。

夢見心地で、おりうの唇を、もう一度思い浮べ、更にはおりうの玉肌を妖しいまでな想像に思い描いているのであった……。



あすの運勢　十月十五日　高島象山

▲一月生―家庭円満にして事業明朗に進展栄達あり開業就職結婚吉
▲二月生―不用意より意外の災禍にあい易い外出を慎み怪我を注意
▲三月生―物事思想浅薄に流れ失敗を招き易い酒色の道を注意せよ
▲四月生―何事盛大に発展の義あり積極的に活動せよ開業結婚大吉
▲五月生―物事姑息に流れ苟粗略に失して自ら失敗を招き易い注意
▲六月生―物事に気迷い起りて邪正善悪の見分けもつかず失敗招く
▲七月生―何事も光明に接するが如く漸次栄達あり開業就職結婚吉
▲八月生―幾多の障碍が起り辛苦災厄を招来し易い婦人は痴情起る
▲九月生―何事も怠慢より失態あり剛情より信を失うなり注意せよ
▲十月生―経済運旺盛で自信ある事に向えば利達栄進する移転よし
▲十一月生―浅薄なる思想は災禍を醸る身内親類に病気不幸心配有
▲十二月生―稼業は無難なるも身内親類に心配あり家庭に不和注意

マーガレット姫・一途の恋
王宮で落合うお二人
突如帰国の大佐と噂の花


マーガレット姫


タウンゼント大佐

【ロンドン十三日発ロイター＝共同】エリザベス英女王の妹君マーガレット王女(二五)と三年越しのロマンスを伝えられるピーター・タウンゼント英空軍大佐(四〇)は、十三日午後七時突然ロンドンのクラレンス・ハウスに王女を訪ね、約一時間半にわたって歓談した。大佐は王女の父君である故ジョージ六世の侍従武官をしていた時以来王女と親しくしていたが、大佐が一度結婚して二人の子供がありながら離婚した経歴をもっているというところから周囲の反対が強く一昨年大佐はとうとう駐ベルギー大使館付空軍武官としてブリュッセルに去った。当時英国の新聞は大佐のベルギー行きを"亡命"とさえ批評したものである。しかし十三日、三年振りに二人が公然と対面したところからロンドンの各新聞はいよいよロマンスの実が結ぶのではないかと色めき立っている。ことに王女が休暇先のスコットランドからわざわざ十三日にロンドンに帰り、大佐も任地のブリュッセルから急ぎ同じく十三日に帰って来たところからこの"計画的な会見"は二人のご結婚の前ぶれではないかとみており、ロンドン市民はこの二人のウワサでもち切りで、マーガレット姫の将来について公式声明が出るだろうとの観測も強まっている。なお大佐は王女を訪問する前に従姉であるウィルス夫人と一緒にロンドン市内で買物をしている。

結末近い 世紀のロマンス
ロンドン各紙 大々的報道

【ロンドン十四日発＝共同特派員】十四日の朝刊各紙は第一面に『ピーター・タウンゼントついにマーガレット王女と対面』といった見出しをいっせいに掲げている。これまで英国新聞の大部分は、この『世紀のロマンス』について非常に慎重に取扱い、米系新聞だけがはでな憶測記事を全世界に流していたものだが、十二日以来さすがの英国各紙もいよいよこのロマンスの結末が近づいたことをきそって報道するようになった。話題の中心はマーガレット王女が序列による王位継承権を放棄してまでタウンゼント空軍大佐とロマンスの最後の花を咲かせるか、それとも英国王室の権威にかけて問題を他の方法で解決するかという点にある。各新聞はこの点なおきわめて慎重で無責任な憶測はいっさいさけており、また直接この問題を表現する言葉をさけているようだ。しかし十三日タウンゼント大佐のロンドンの宿舎におしかけた記者団は、皇太后の屋敷クラレンス・ハウスで二時間にわたり皇太后およびマーガレット王女と会見して帰ったばかりのタウンゼント大佐をつかまえて『あなたは今晩幸福ですか』という質問を集中した。これにたいしタウンゼント大佐は笑って『幸福です』と答えたが、それ以上はまったく沈黙を守っている。新聞の報道とともに英国民もいっせいにこのロマンスの結末に関心を示し始め、また一方ではこの問題についての英国当局側の取扱いや態度が議論の的となっている。



盗んで新婚旅行
郵政省職員を逮捕

新婚旅行の資金ほしさに勤め先から衣類、カメラなどを盗んだ郵政省の職員が十四日朝麻布署に捕った。川崎市二子町郵政省更生組合運転手古橋良一(二四)で去る九月二十五日の日曜日夜八時ごろ、港区麻布飯倉六の一三の同省地下にある組合売店(責任者田中鈊一郎氏)に忍び込み、ガラス戸をこじあけ、カメラ、背広など三十七点、二十五万円相当を盗み出し、タクシーに乗せて自宅に運んだ。同人は新婚早々で月給一万二千円では新婚旅行もできないところから、勝手を知った勤め先から盗んだと自供しており、盗んだ翌二十六日妻の里である大島へ新婚旅行としゃれこみ、帰りの旅費に盗品の背広などを大島航路の船員に売り飛ばして帰京していた。なお同署では共犯の蛭田某(三七)を指名手配した。

いんねんつけて刺す

[illegible] 才知乃棟のもので右腕に全治二週間の傷を負わされた。荒川署では土地の不良の仕業とみて捜査中。

ホルモンの使用を
包茎手術で発育不振に悩む青年

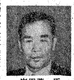
迷路ガイド 解答 志村巽

【問】ことし十九年九ヵ月になる男性です。去年の三月東大で包茎の手術をしまして今日まで隔日で約千家兎単位(一本五〇家兎単位)のシナホリンを終了しておりますが、全然発育をみません。現在身長百七十㌢体重五十七㌔、髭、腋毛、陰毛の発達等も普通です。陰茎は短小で長さ三㌢、睾丸は診断の結果普通です。

【答】文面からみますと、確かに体の割に陰けいは短小です。しかし他の部分の[illegible]であり、ホルモンも不足[illegible]いと思いますから、性[illegible]響はないはずです。[illegible]より小さい陰茎を大き[illegible]だけが問題となります[illegible]なかなか困難です。脳[illegible]効果がないようですか[illegible]ルモンの使用を試みて[illegible]しょうか。しかしなが[illegible]九才になってしまった[illegible]あなたのことですから、確実に大きくなるとは申し上げられない点もあります(十仁病院泌尿器科長)

岩田氏の起訴確実
首なしメーデーの首謀 当局、懸命な裏づけ

[illegible]メーデー事件[illegible]元日共中央委員岩田英一(四八)＝を調べていたが、第二勾留満期の十五日同氏を騒乱罪"首謀"で起訴に決定した模様である。岩田氏の逮捕状に記載された容疑は騒乱"指揮"であったが当局は"首謀"容疑濃厚とみて逮捕後直ちに警視庁と協議し警視庁から特別捜査班五ヵ班の応援を得て慎重に裏づけ捜査を進めた結果"公訴維持"に足る容疑[illegible]しながら、首謀者が一名もなくいわゆる"首なし事件"といわれた難事件も目鼻がついたかたちとなった。


岩田英一氏

七五三

[illegible]

林房雄氏宅に強盗
女中に暴行未遂 騒がれて逃走

【鎌倉発】十四日午前四時十分ごろ鎌倉市浄明寺五一四作家林房雄氏(五三)方玄関から二十四、五才国民服の上衣にネズミ色ズボンの賊が侵入。物音に玄関わき六畳に寝ていた家の手伝の中野美知子さん(二〇)が目をさまし廊下に出たところ『静かにしろ』と女中部屋に連れこみ目かくしして暴行しようとしたが騒がれたため玄関から逃走した。鎌倉署で捜査中。

徳田氏の党葬行わる

二年前の十月十四日北京で五十九年の生涯をとじた元日本共産党書記長故徳田球一氏の共産党葬は十四日午前十時半から野坂第一書記が葬儀委員長となり、池袋の豊島公会堂で約千五百名参会して行われた。故人遺骨、デスマスク、毛沢東氏の手になる額がかざられ、中央委員松本一三氏が開式の辞をのべ、野坂葬儀委員長の挨拶、タツ未亡人、実弟徳田正次氏、矢野克子さんの答辞などがあり正午過ぎ終った。


故徳田球一氏の党葬、弔辞を朗読する野坂日共第一書記

正三位勲一等を贈与

政府は十四日朝死去した安藤正純氏が多年国会議員として憲政に尽した功労にたいし正三位とし、勲一等瑞宝章を贈ることにきめた。

安藤正純氏



(日本民主党最高委員、前文部大臣)胃ガンのため鎌倉市浄明寺一一七の自宅で加療中、十四日午前六時二十分死去した。七十九才。

【略歴】東京都出身。東洋大学卒早大中退後日本新聞、大阪朝日新聞の記者を経て東京朝日新聞編集局長、取締役を歴任。大正九年衆院議員に初当選、以来当選十一回同十三年政友会に入党、昭和五年犬養内閣の文部政務次官となり、その後政友会幹事長もつとめた。昭和二十年鳩山氏らと自由党を結成、初代政務調査会長になったが間もなく追放。二十五年解除後、自由党顧問となり、同二十八年三月第五次吉田内閣の国務相、同二十九年十一月、民主党結成にともなって吉田首相(当時)に引退を勧告、拒否されて国務相辞任とともに自由党を脱党、民主党顧問、ついで同年十一月第一次鳩山内閣に文相となった。

黒岩市兵衛氏(長野県議会議長)十四日午前七時五十分長野市横山町の新井敏二氏宅で脳出血のため死去。五十二才。下高井郡山ノ内町出身、東洋大卒、昭和二十二年以降県議三期を勤め、本年五月議長就任。(長野発)

あすのスポーツ △プロ野球 大洋対中日(二時、横浜) △六大学野球 明対慶一回戦(一時、神宮) △庭球 早慶対抗(十一時、早大) △ボクシングフライ級タイトルマッチ スピーディ章対大上光忠十回戦(六時半、田園) △六大学軟式野球(八王子) △競馬 中山、川崎

独眼灯



○…徳田球一氏の慰霊祭がきょう十四日豊島区公会堂で行われたが、けさ二時半ごろ"徳球さんが自動車にはねられて死ぬ"という事件が起った。

○…ところは中共ならぬ墨田区吾嬬町西二の二三先路上で、同区吾嬬町西一の三六税理士麻生秀一郎(三〇)が酔払って自家用車プリンス五三年型で轢き倒したもの。このとき"徳球さん"はギリシャの哲人ディオゲネスよろしくバタ屋の荷車で熟睡中だったが……。

○…もちろん被害者はホンモノではなく、刑事にしばしば間違えられた経歴の持主"徳球さん"こと廃品回収業野口感二さん(四四)で徳球ばりの明朗さで近所の人気もの。ホンモノの慰霊祭の日に死ぬなんて何かのいんねんだろうと話題を呼んでいる。

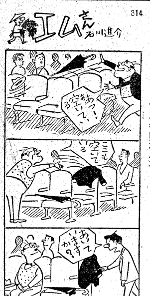
別所、柚木が先発
日本シリーズ第一戦

【大阪発】十五日午後一時から大阪球場で行われる日本シリーズ第一戦のスターティング・メンバーは十四日正午から大阪球場内貴賓室で両軍監督から次の通り発表された。

【巨人】(先攻)		【南海】	
南村	(右)	木塚	(遊)
平井	(遊)	島原	(右)
柏枝	(三)	杉山	(一)
川上	(一)	飯田	(中)
千葉	(二)	堀井	(左)
樋笠	(左)	岡本	(二)
岩本	(中)	森下	(三)
広田	(捕)	松井	(捕)
別所	(投)	柚木	(投)

球審 二出川(パ) 塁審 [illegible] 津田(セ) 線審 浜崎

巨人は先発別所をはじめ予想された通りのラインアップを布いているが、南海は全く意表を衝いて今季三勝四敗と凋落著るしいが、過去の日本シリーズで最も安定したピッチングを見せた柚木を先発させ、右翼には現在当っている島原を配し二番を打たせる背水の陣で臨んだのは注目される。



また咲きそめたE号
"暴力"追放の秋風に乗って



変貌したYライン
⑦池袋西口



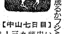
彼女はアパートに住んでいた。というって都営のような鉄筋ではなく、木造二階建ての西暦平の[illegible]のい[illegible]—いくつかの路地を曲ったところが寝ぐらであり取引場所なのだ。

○…あまり頻繁に人が出入りすると隣り近所の評判がうるさいので特定の客しか選ばない。いわゆるE号と呼ぶ女である。(A・B・C・D・Eと限定)部屋には洋服箪笥もあればフランス人形も飾られラジオまである。高級サラリーマンか重役見習を相手にする部類の女とみれば当らずとも遠からず、西口と東口に三、四名はいた。但し二、三年前の話である。その後このの街も暴力の街とか東京のカス[illegible]ってみればちゃちな一室である『好きでこんなことをやっているのではないの、夫と別れてから子供を抱えて―』悲境に泣く女の辿り易いコースを彼女も踏んだ訳だった。西口—[illegible]パと騒がれだし彼女みたい[illegible]り花もチラリホラリと花が[illegible]ように姿を消した。E号の[illegible]であったK氏はほんとうに[illegible]なことをしたといまでも[illegible]ップリである。だからとい[illegible]く全く姿を消していったので[illegible]く、新なる場所なる商売を続け[illegible]るのかも知れな[illegible]

○…そのブク[illegible]いま暴力という[illegible]の汚名をそそご[illegible]商店街が打って[illegible]となり明るい池袋[illegible]設へとひたむき[illegible]力を注いでいる[illegible]今ではそのせい[illegible]っぱり女給の数も[illegible]ンと少くなり、[illegible]の線がはっきり[illegible]出ている。シネ[illegible]サ裏のえびす街[illegible]芸場あたりの[illegible]店、小料理屋、[illegible]は店のつくりを[illegible]客へのサービスに[illegible]命であり、本年中に西口マーケットの立退きが完了したら[illegible]えるような住みよいブクロ[illegible]にするといっている。

○…西口にあるO陶器店で『東口は地下鉄景気らしいが西口はさっぱりですよ、でも[illegible]

連勝成るかフジミナト



【中山七日目】いよいよ四次中山競馬も大詰め、あす第九にはアラブ三才の優勝レースが設けられている。

△アラブ三才優勝(第九―千百米)勝時計では初日ベンケイ以下を降したミスキヨフクが最も優秀だが、本来の能力は東京の優勝馬フジミナトが一枚うわ手。ここの優勝も結局同馬が連覇することになろう。ベンケイの逃げ脚もうるさいし、札幌の優勝馬ワンライトも今度は軽視出来ぬが、穴馬としては二日目初めてのレースで楽勝したフアイターに注意される。フジミナト、ミスキヨフク、ベンケイの順、穴フアイター。

△一般レース予想 ❶ローヤルローズ、ホウエイ、カチノボルの順、穴トサモンド❷パトリシア、イサムオーの順❸ヒシマサ、ハチトモ、トヨシロの順❹タカツキ、マサハタ、ヤマイチの順、穴セルテート❺クキンスワロー、トーヨーライト、ヒデマルの順、穴フジミノル❻クモノミネ、タイヘイヨウ、ブラックペルの順、穴アサゴー❼クリツパサ、ハクビ、フクホウの順、穴キクノハナ❽フミトシ、ピュアー、レンドヒカリの順、穴ダイニキリタチ❿コンチエンス、フミハタ、ローヤルダツシユの順、穴フクリユ⓫シルバーウエーブ、ミノルメイチ、アサカヒメの順、穴トヨクモ。(松本弥一)

松戸競輪初日成績 ◇第一B(千)❶山崎喜1分21秒1❷新名藤❸高倉稔(単)150円(複)120円110円220円(連)❷—❺380円 ◇第二B(千)❶山口重1分22秒8❷海法秀❸栗原昭(単)320円(複)120円100円370円(連)❻—❶900円

デボコント 蛙のデボ



へ権兵衛は種まく鴉がほじくる

……権兵衛さんといえば今でこそ百姓の代名詞になっておりますが、その昔は、れっきとした官位だったといわれます。何々之助も然り。

有名な人がいたり、官位の高いものがいる、下々のものがその真似をして、われもわれも……と同じように高貴な名前をつけたがるのは、さもしい人情の自然です。

こんな話があります。戦争前、まだ侯爵だとか伯爵などという華族さまが幅をきかせていたころ、何の拍子かで大儲けをした俄か成金がありました。あ金も財産もうなるほどある。とほしいのは地位と名誉だけです。殊に、あいつは名もない土百姓の伜で……などと陰口をきかれるのがいちばんの苦痛です。原田三太郎……という自分の名前にさえ腹をたて、せっかく名前をつけてくれた親さえ恨みはじめました。三太郎なんて全く安っぽい名前だ、それを何とかしなければ――と、当時の人気者の近衛文麿公の真似をして原田文麿と改名しました。そして、おれは日本有数の名家、九州の原田家の一族で…と大いに素性のよさを吹聴して回ったものですが、人間の内容は一向に名門の出らしくもなければ、公卿さんらしくもありません。蛙の子はやはり蛙の子。

×

人間の名前だけじゃありません。物の名称だって同様のことがあります。アメリカのホルモン剤で近年輸入されて大いに有名になった『デポ男性』と『ポ女性』。これがあまり売れるので、デポの名前を勝手につけたホルモン剤が次々と現われました。そして安い値段で売り込もうとしましたが、原田三太郎が原田文麿と改名しても内容は文麿さんになれなかったように、近ごろでは、一時はだまされた人も、やはり蛙の子は蛙の子、効き目ではどうしても本場の『デポ男性』でなければ…との評判です。

続 情炎の千代田城

岩崎栄　寺本忠雄画　（268）

火煙血煙（七）

[illegible]

には、どうして渡るのじゃ』

『そこに、橋があるだよ』

『どこだ』

のぞき出すのを、

『このヤローッ』

烈しい水音がした。

『こらアッ』

『こんちきしょうめ』

『くそッ』

一人は鳶口だ。も一人はウメガイ。油断していたから、あっさりかたづけられてしまった。

『水野氏ッ――どうなされた』

庭の方からだ。

『へん、ミズノウジか。蛆のわいた水なんざ』

サシコと尻切バンテンが、まっ暗い椿の下を走りながら、

『おめえかブッ食わしたヤロウは、ちょッとかっぷくがいいなと思ったら、水野氏ッてんだな、あいつ』

『うん、そこで考えたよ、おいら』

『なんでえ』

『まあ任しとけ』

やがて、表庭の方で、この二人が声をかぎりにわめき出した。

『太田川八角先生ッ！　水野様がお呼びでございます』

『八角先生ッ……新井白石を母屋の納戸で見つけましたぞッ』

ところで、泉水の向う側、松の根かたで、片手に血まみれの鳶口で、片手は一升徳利をラッパ飲みしながら、

『わ、われこそは、八百屋源氏のチャキチャキの、家元の、定吉さんでござり奉るぞヤイ、こんちきしょう』

その横に、黒い影のようにつき添っているのがお静である。笑っている。きれいな白歯に焔が光る。

『出てうせろッ。ヘン！　太田川……なにをいってやんでえ』太田川ならドジョウ屋だァ。一とニョロだい。二だニョロだい。三ニョロ四ニョロッと、ちくしょう！　舌ァ嚙んで死んじまやがれッ――』

あッ、いていてッ』

お静に突き飛ばされて、よろめ[illegible]

『ウムッ――ウヽヽッ』

八百定が、ビックリしながらの大音じょう、

『やァやァ遠からんものはクソでもくらえ、ミナモトの八百定またまた一ぴき退治仕ったりッ』

『ホヽヽ』と闇に冴えて、お静はおかしさにたまらないのだ。

『おじさん、威張るのはいいけど、気をつけておくんなさいね。しっかりたのみますよッ』

『気をつけるなァそっちの役目だ。荷をつけるなァ馬子の役と』

『おい、きょうでえかッ』

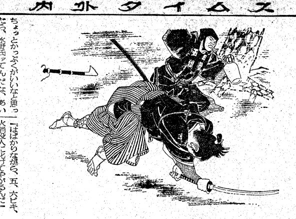
『ギョ！　だ、だれでえ』

『おいらだよッ、よう、酒をくんねえ、一と口飲ましとくれ』

『おお、エノさんかい。どうした、やっつけたか、ちったァ』

『はばかりながら、五、六ピキ、火消役人に化けてやがるんだ』

『火消も毒消もあるけえ。もうこうなれァ。さァ飲んどくれ、さァ飲めッ』



手をあげた『中央映画』

『独立プロ協組』発足の内幕

十一月五日から八つの独立プロが寄り合った『独立プロダクション協同組合』が発足する。この中の一構成分子として中央映画が入っているが、これより先この九月に左翼独立プロの中央映画及び配給会社である独立映画では、昨年の六月、さらに十二月に続く第三次の危機に直面、代表者伊藤武郎氏は債権者、協力者、社員一同を集めてことここに至った責任を陳謝するとともに、従来の経営面に現れた企画の欠陥、人事運営の拙さなどについても卒直に反省の色を見せ、こんごの処置についての意見を求めた。その結果、中央映画は三名に減員、都下上石原の撮影所は独立映画に移譲、また独立映画も地方支社を独立採算制に切換え、本社も五十六名から一挙に八名に減員するという人員整理を行った。まことにマカ不可思議なのは左翼映画企業の特殊性だがその辺の事情に探りを入れてみる。



俳優座、山本プロ提携作品『浮雲日記』の津島恵子㊧と佐藤茂美



伊藤武郎



新藤兼人



菊田一夫



野添ひとみ



今井　正



山本薩夫

負債八千万円の救済？

二の足をふむ七団体

この独立協同組合という仕組はたまたま中央、独立映画再建会議の席上、顧問弁護士たちから一案として出されたもので、近代映協の新藤兼人、絲屋寿雄両氏なども早速支持を与えたが、つまりは独立プロがいくつか寄って協同組合法による金融をうけたり、相互援助をやって行こうというもの。考え方としてはいいのだが、これによって映画の自主製作を行っている新劇三座の文学座、俳優座、民芸やにんじんくらぶ、まどがグループ、芸研プロ、聖林映画、青俳といった他団体を糾合するにはかなりの困難があるようだ。まず第一に左翼の中央、独立映画の危機を救うために利用され巻込まれはしないかという懸念である。左翼プロの危機はいわば自業自得であり、その負債まで背負いこまされるのはマッピラだという立場なのだ。しかしともかく五十九条の定款もできて、やっと発足まで漕ぎつけはしたが、なお呼びかけたプロのうち七団体は応諾の返事を与えていない。

普通の企業の場合、不渡りが出て事業自体が行詰り、債務返済の見込みも早急につかなければ、債権者たちは情容赦なく会社を取り潰したり、差押えを行うか、あるいは債権者たちの手で事業管理をやるというのが普通である。しかし中央、独立両社に合せて約八千万円もの債権を持つ各方面の協力者たちはだれ一人それをやろうとしなかった。この出資者の両社に対する関係は普通の企業の場合とは一種違ったむしろ"シンパ"といった気持で結びついているようだ。債権者の一人はこの辺の事情を遠慮がちに『幹部の人々はわれわれの好意に甘えすぎて、ひどい言葉でいえばアグラをかいた大福帳経営をやって来たという気がしますね』といっている。

一つの例でいえば、本年に入って従来ずっと協力して来たがギャラもろくろく払ってもらえないのに業を煮やしたある技術者が、代々木の日本共産党本部文化部へ上申書を提出『ルーズな経営と幹部の責任を徹底的に洗い上げ、追及してほしい』といって来たそうだがこれを受けた共産党本部ではいろいろ調査してみたところ、中央映画から提出された書類の数字が信用できず、真相がどうしてもつかめないのでサジを投げたといわれ内部的にも幹部が信用されず、『狼』などのように暗い一方で救いがなく、客が来ない映画をこれから作って行くようなら、大衆から見放されても仕方がないという警告を発したともいわれている。

菊田一夫氏、野添ひとみも債権者

だらしのないやり方

このほど中央映画が債権者のすべてに発送した債務目録をのぞいてみると、その三千六百五十五万円に達する債務の中には、自由映画人連盟四百三十万、民芸七十七万、俳優座四十五万、菊田一夫氏五十万、東俳協（現在すでに解散してなし）三十三万、津島恵子三十万、にんじんくらぶ五十万、野添ひとみ四十四万、撮影所食堂三十万といった数字が見られる。この中で例えば食堂などは要するにツケの無銭飲食で、こういっただらしのなさのため以前左翼プロがよく使った三光スタジオの食堂も潰してしまった。菊田、津島などの債権は買取りで松竹に売った『由紀子』のものであり、その帳尻は製作費を上回る黒字であるにもかかわらず払うべきものを払っていないわけだ。『姉妹』もまた安くで上げて儲けた作品だが、野添や中原ひとみ、内藤武敏といったスターやわき役、スタッフたちにはギャラ未払いのままだ。

映連の四百三十万というのはかなり大きい数字である。これは占領下レッド・パージ旋風が吹き荒れたころ、東宝、松竹などを追われた映画技術者たちが相互扶助のために寄った団体で、その後ずっと独立プロ関係の仕事に協力して来たわけだ。従ってこの債務などかれらの毎日の主食や惣菜やまた子供たちの学費に当てるべき血と汗の報酬であるにも拘わらず、それがいい加減の経営のために払って貰えないというわけだ。この目録にあげたほかにも、ある左翼作家から二百万、新劇の某俳優から借り出した四百万が何れも借りるときの口実とは違った方面に使われてそれっきりというものもある。要するに左翼プロは数本の"民主映画"は作ったが、それを作るために協力した人々に対してはひどく非民主的な収奪を行って来たことになる。そうした大金が次々と投入されては用途不明に消えてしまうといった辺りには、いわゆる秘密主義の臭いがあるが、これは人事にも適用され、再建会議が行われたときには下部や協力者の一人も知らぬうちに、八月一杯で今井正、家城巳代治、山本薩夫とかいった一流監督や脚本家、あるいは製作者をすでに契約解除してしまっていたという事実にも現れている。

非民主的な独善ぶり

さてこうした大整理をやったが完全失業者は二、三名しか出さなかった。しかし製作プロダクションとしてたった三名になってしまった中央映画は先ず当分の間は自主製作を行う能力はない。従って中央、独立両社の背負った債務を返済する見込みの明年四月までは、一本も製作は行わず、専ら現在までに作ってまだ興収の完全回収ができていない『ここに泉あり』『姉妹』『愛すればこそ』などや、輸入洋画『鉄路の闘い』『アウシュヴィッツの女囚』また未封切だが三千万くらいの興収を上げる予定のソ連記録映画『北極物語』チェコの短篇『水玉の幻想』『飲みすぎた一杯』ソ連の長篇漫画『黄金の羚羊』中国映画『白毛女』さらに製作中の俳優座、山本プロ共同の『浮草日記』（『がん張れ馬五郎一座』改題）などで持ちこたえることになっている。

今回の危機の直接の動機となったのは新藤兼人作・演出の『狼』が全くの不入りに終ったことからだが、中央、独立両社の伊藤武郎社長は再建会議の冒頭に臨んで『従来の映画には余りに暗すぎるイデオロギッシュなものが多すぎたこと、その企画に当って下部の意見を容れなかったことは悪かった。こんごは協力者や債権者に影響して来る重要な決定に当っては大衆討議にかけること』などを約束したといわれる。ここまで左翼プロが追込まれて来たのは、第一に優秀な事務能力のあるものを経営陣に欠いたことから起る企業的センスの欠陥、企画の悪さ、経営者、幹部、監督、プロデューサーの独裁と"民主々義"とは名ばかりで下部の声などに耳を貸さない封建性、そして企画面に現れた革命の志士的な自己陶酔などが重なって自壊作用へ導いたものといわれているが、昨年六月、北星映画が崩壊したときと比べて、仕掛り作品はともかく数本あり、明年あたりからは邦画六社の二本建強化などのこともあって、当然独立プロへも注文は来るものと考えられるし、一つにはそれも見越して独立プロ協組ができたのであってみれば、左翼プロの前途にも希望の光は射して来るものと見ることもできよう。

後半に見せ場

『東京むかしむかし』

花柳桜『東雲会』評

○…芸術祭参加で朝日新聞連載の『東京むかしむかし』を取上げたのは意欲的な異色公演といえようが、なにしろこの題材は地理感や年代的な性格というのが舞踊的には描きにくく、それに日本舞踊風な綺麗事にもならないという厄介なテーマ。風物詩的な展開で後半は単なる歴史の説明的なものから抜け出て舞踊的な見せ場をこしらえ、中でも『土器と女』（桜、彰城秀子）『村・国守』（花柳徳助、寛）が整っていた。

○…一体に初演のためにテンポが渋滞がちで『税・徴税』から終幕『防人』（花柳喜章）にかけて盛上らなかったのは惜しい。また伴奏には日本舞踊畑では最初だという合成音の一種をテープにしてマイクを立体的に使って新味を出していた。この他、桜は西崎緑と組んでボリューム感にみちた『寿二人猩々』を、また彰城秀子が新工夫の『月光を浴びたへび』を再演した。（寅）

『ビルマの竪琴』で現地ロケ実現

日活『ビルマの竪琴』のビルマ・ロケが決定した。ロケ隊一行は市川崑監督、安井昌二ら製作スタッフ二十名であるが、十一月中旬日本を出発。撮影はビルマの首都ラングーンを中心に約二週間にわたって行われることになっている。



私のコレクション ⑫

オモチャの楽団

ペギー　葉山

（こ）のジャズ娘、当年とって二十一才になったばかりだそうである。だから応接間のタナというタナにコケシの類いは無論のことおよそ人形と名のつくあらゆる種類のセンイ製品、陶製品、木製品がところきらわず鎮座ましましていてもちっとも不思議ではない。『あっちこっちからもらったり、自分でもどこかへ行けば買って来たりしてるうちにたまっちゃったのよ。だってやっぱり女の子ですもの、可愛いのをみたら欲しくなるわヨ』という次第なんだそうだ。

それらの中でコレクションといえば音楽隊だ。それも動物の音楽隊である。『小っちゃいから写真にうつるかしら？』といいながらピアノの傍に並べられる楽隊。熊が七頭のバンドがある。犬五匹のどうやらこれはタンゴ・バンドらしい。ギターを抱えてレイを首にかけた犬のハワイアン・トリオもある。ナイロンの歯刷子の毛みたいなヒゲをつけた猫六匹のバンドもなかなか傑作だ。

（狸）の五人囃子？の中には日の丸の扇子をかざして踊っているのもある。河童のトリオ（粘土製）は鼓をたたいているらしい。楽器も千差万別、アコーディオンあり、サキソフォン、コントラバス、三味線まであるんだから全部で大合奏すれば和洋合奏もできようという寸法だ。

（動）機をきいてみよう。『去年の春ごろだったかしら、北海道の定山渓へ行った時に木彫りの熊のオーケストラみつけたの。アイヌの彫ったものだっていうけどどうかなァ？　あまり可愛いいんで買って来ちゃった。それからよ、動物の楽団に興味持ったの。でもこれからがなかなか集まんないわネ』大たい生きものが好きな人に悪人はいないというが、彼女も大の動物好き。いまはデコというワイヤーヘアード・フォックス・テリアが一匹いる。『猫も飼ってたんだけど、こないだ家出しちゃって帰って来ないの』写真を撮ろうといったら彼女さッと指揮棒（実はストロー）をふり上げて構えた。演奏するは？　モチロン、ハイドンの玩具交響曲（でしょうな、キット）

×　×　×

動物好きのお蔭

北海道で見つけたのが病みつき



落語研究会　十五日十二時四十分　有楽町東京ヴィデオ・ホール。『抜け裏』馬楽『石返し』可楽『派手彦』円生『松倉町の捕物』

ラジオ・プログラム　15日（土）

★NHK第1★　590KC

- 7・45　朝の訪問
- 8・05　ヴァイオリン独奏　シュナイダハン
- 8・30　乗物マニヤ③汽船　石川滋彦
- 0・30　浪曲　江戸の夕鶴　朝霧照代
- 1・05　婦人の時間　エツサラ母さんホイ坊や
- 2・05　東フイル　指揮　グルリット
- 4・15　希望の星座　林伊佐緒
- 6・00　こども劇場　中村メイコ　古賀さと子
- 7・30　映画活弁二十の扉　生駒雷遊　山野一郎　谷天朗
- 8・00　なつかしのメロデイ　昭和篇　藤山一郎　音丸　岸井明　楠トシエ
- 8・30　とんち教室　西崎緑他
- 9・15　劇　おけらの歌
- 10・40　幸福を拾つた話

★NHK第2★　690KC

- 7・30　マルコポーロについて❶ジユウゼツペ・トウツチ
- 8・30　大作曲家の時間パーセル❻ハープシコード組曲
- 10・45　録音ルポ　木工ほか
- 0・30　原田良一とモダンリズム　伊藤素道とリリオ
- 1・00　読売ジヤイアンツ対南海ホークス　大阪球場から中継
- （引続き）東京六大学野球　明大対慶応　神宮球場
- 6・30　チエロ独奏　中島万　ピアノ伴奏　舟橋豊子
- 7・00　映画音楽　解説　清水光雄
- 9・30　青年学級の友へ　座談会　新しい弁論❶中島健蔵
- 8・30　ニユーワールド・コンサート
- 9・45　スポーツ・シヨウ
- 11・00　録音　私の観察日記

ラジオ東京★　950KC

- 8・35　劇　花ふたたび
- 9・05　ウツカリ夫人もぐらの社長さんの巻
- 10・10　泉鏡花作　葛飾砂子❶　香椎くに子　堀内敬子ほか
- 0・15　昭和風俗史　和子〆子
- 0・30　原孝太郎と東京六重奏団
- 1・25　テイピカ東京　歌　藤沢嵐子
- 1・40　大菩薩峠　桃川如燕
- 1・55　プロ野球　巨人対南海
- 6・25　ぴよぴよ大学　河井坊茶
- 7・30　どうしましヨウ　司会　小野田勇
- 8・00　エルマン・ヴアイオリン独奏会　シヤコンヌほか
- 8・30　浪曲　荒神山　虎造
- 9・10　コロムビア・アワー
- 10・15　絵のない漫画　昭葉説教　近藤日出造　智照尼

★日本文化★　1130KC

- 7・30　三枝登と楽団
- 8・10　おしやべり　楠トシエ
- 9・30　青春のあるところ
- 10・25　家庭医学　慢性胃炎
- 11・15　録音　甲府　雨畑硯
- 0・00　落語二題❶キヤンプ　今児❷衛生料理　柳昇
- 1・00　六大学野球　慶応対明治　大庭アナ
- 4・00　ボストン・シンフオニーコンサート　解説　大木正興
- 6・00　少年宮本武蔵
- 7・10　映画主題歌集
- 7・30　アベツク歌合戦　トニー谷　石井亀次郎　豊文
- 8・00　素人ジヤズのど自慢　司会　水の江滝子
- 9・00　松竹新喜劇　泣き笑い芝居横町　渋谷天外ほか
- 9・30　劇　この世の花　真木恭介　山岡久乃ほか

★ニツポン★　1310KC

- 8・00　サザエさん　市川すみれ
- 9・00　ホームソング栗本尊子
- 10・00　花は燃えている
- 11・00　おばあさん　長岡輝子
- 0・00　特別美顔法　金語楼
- 1・00　美しき母　酒井哲
- 1・35　やりくりチヨ子さん　左幸子ほか
- 2・00　民謡　白石踊
- 2・30　劇　春の憩　関弘子
- 3・00　劇　げんこつ権兵衛
- 6・15　劇　覆面の騎士
- 7・30　❶歌舞伎模様　悠玄亭玉介❷操縦日記　桂右女助
- 8・00　家族ゲーム
- 8・30　雪村いづみシヨウ　ゲスト　旗照夫
- 9・30　劇　太郎行くところ女性共同戦線同盟あり
- 9・30　ミユジカル・コメデイ
- 10・00　歌謡曲

はと笛

▽…映画からすっかりご無さたしている浜田百合子が、去る九月十七日に二人目の赤ちゃんのママになった。目方も一貫目近くあるし、今度は坊やだったと夫君本木荘二郎プロデューサー共々大喜びで『荘太』と名づけたまではいいが……。

▽…『一姫二太郎というから、もう一人男の子と思うけど、本当はもう沢山だな。これからは残り少ないアタシの青春を楽しもうと思ってんのよ』とスヤスヤ寝ている坊やのホッペタをチョイ。とたんにゲクゲク泣きだした荘太君をあわてて抱いた彼女『とはいってもアタシはやっぱりママだからね。青春でもないわね』とは、イマサラネー。



【写真は浜田百合子】

都々逸名選

小沢扇太郎選

正蔵『天災』小さん『人形買い』三木助『いくよ餅』志ん生。

風に吹かれて落ちてく秋の　木の葉にも似て恋に泣く　文京・木村いつ秋

男で悩みをピタリと当てる　街の易者を怖く見る　千住・矢吹日進

女房が駅まで迎えに来てる　顔がちらつく退け時刻　浦和・尾迫通夫

若いセーターまあるく胸が　秋に弾ずんで恋を知る　蒲田・大塚夢涼

貴方の噂も土産の一つ　母にのろける里帰り　東両国・両国

◇

躍り込んでもやりたい二階　貴方によく似た影法師　選者

